

駅職場での営業勉強会・運転訓練会の 指定は非番にすること！ 何故なら休日は休養を取るためにある！

2月16日名古屋地本は申6号の「営業勉強会問題について」会社と勉強会・運転訓練会の休日指定について業務委員会を行いました。

会社回答

1. 駅職場における「営業勉強会」「運転訓練」は休日に設定しないこと。
回答：勤務は会社が指定する。
2. 駅職場における「営業勉強会」「運転訓練」の指定日の発表の仕方を明らかにすること。
回答：業務指示は会社が行う。
3. 駅職場における「営業勉強会」「運転訓練」の指定日の確認の方法について明らかにすること。
回答：勤務指定表で確認する。
4. 駅職場における「営業勉強会」と「運転訓練」の年間の訓練時間を明らかにすること。
回答：必要な教育は実施する。
5. 営業職場における「営業勉強会」「運転訓練会」の指定日の設定期間を延長すること。
回答：適切に設定している。
6. 特に専任社員は配慮すること。
回答：必要な教育は実施する。

主なやり取り

組合：1番の回答、会社が勤務を指定するでいいが、ここで言いたいのは公休日等の休みに指定しないことを要求しているのである。乗務員は非番で設定されている。なぜ、非番に設定できないのか。

会社：全員が非番は難しい。

組合：その様な考えはないと言うことか。公休は会社が与えた休日ではないか。

会社：業務であるから。

組合：業務で必要というならば、全社員を勤務手配して行うべきではないか。

会社：場合によっては公休日であっても指定することになる。

組合：乗務員のように計画的にやれば出来るのでないか。例えば、いくつかの駅をまとめてやれば、一人の管理者で済む、そのような発想はないのか。そうすれば休みに出てこなくても良くなるのではないか。

会社：駅によって内容が違うためデメリットが多い。

組合：駅毎の課題はあるが営業職場として共通する内容であるから各駅とも共通の知識と認

識を持っていた方がお互いに良いことである検討すべきである。

会社：業務指示ですから。

組合：重要な事、業務指示だと言うのであれば、日勤手配をするべきである。休日に家から2時間もかけて職場に出てくる人もいる。2時間の勉強会・訓練会のために、一日つぶしてしまうことになる。

会社：教育することが重要で一日潰れると言われても理解できない。やりたくないのですか。

組合：やりたくないとは言っていない。非番で行うようにと要望が出ているのである。

会社：業務ですから。

組合：会社は業務であるから個人的な都合は必要としないということですか。

会社：社会通念上、やむを得ないときは認めています。

組合：認めるということではなく、休日に指定をするから問題になっているのである。

それと、非番で指定を受ける人と休日指定を受ける人の不公平感が発生している。

会社：どちらも超勤の扱いになっているので問題ない。

組合：非番で参加する社員と家から出てくる社員と大きな違いある。これは問題である。

この不公平を解消するためにも全員が非番でできるようにするべきである。

会社：勉強するためですから。

組合：休日は次の仕事のために休養を取り、リフレッシュを行うためにある。休日に設定することは問題である。

指定日の確認方法はどうなっているのか。

会社：勤務表で周知、確認している。

組合：運転区の確認の仕方と比べると甘いのではないか。会社として統一したやり方はないのか。

会社：それぞれの職場のやり方で行っている。

組合：それぞれのやり方でよいと思うがやり方を変えない様にする。

確認の仕方はどうなっているのか。

会社：管理者が確認している。

組合：やり方は各駅まかせになっているが間違いが発生しないようにすること。

勉強会・訓練会の年間の訓練時間について基準はあるのか。

会社：勉強会は各駅の実情に合わせて行っている。運転訓練会は年間、時間数は忘れたが何時間と決まっている。

組合：現状は以前と比べると増えている。教える項目が多くなっている事は分かるが限りなく増えることは問題である。

会社：複雑化しているので必要な事はやることになる。

組合：今月は各駅、ダイ改の準備の為に残って行っている。さらに勉強会、業務研究会、QC、プロジェクトをもやっている。このようなときは何らかの配慮をするべきではないか

会社：忙しいからやらなくても良いとはならない。

組合：全部同時にやらせるのではなく優先順位を付けて業務研究、QCは後回しにすることも必要である。

会社：超勤を付け業務で行っているのだから必要。

組合：2時間の勉強会の後に、ダイ改の準備、業務研究、QCをやっている現実がある。現場は本当に大変である。もっと配慮をすること。

以上